

平成28年6月27日

宮崎河川国道事務所

記者発表資料

通学路を安心して歩けるようになりました

～国道220号 串間西方歩道整備が完了～

国土交通省宮崎河川国道事務所が進めている、「事故ゼロプラン※」に位置付けられた「串間西方歩道整備事業」が完了しました。

松清橋を含む宮崎県串間市西方地区の国道220号の延長約350mは、福島小学校の通学路として利用されていますが、路肩の一部が狭く、児童の通行空間の安全性が確保できていませんでした。

また、平成24年8月に福島小学校・宮崎県警・国土交通省が協働で実施した通学路点検においても、歩行者の安全性が危惧されていました。

このため、国土交通省宮崎河川国道事務所では、松清橋架替に合わせた歩道の整備を行い、松清橋の前後は、路肩を緑色に着色することで通行空間をドライバーに認知していただき、通学路の安全性を確保しました。（詳細は別紙をご確認ください。）

整備前



整備後



平成28年6月撮影

※「事故ゼロプラン」とは、交通事故が多発する特定の区間等に対して、集中的・重点的に交通事故対策を実施することで、交通事故撲滅を目指す取り組みです。

事故ゼロプラン展開中

—発表記者クラブ—

宮崎県政記者クラブ、串間市記者会

—お問い合わせ先—

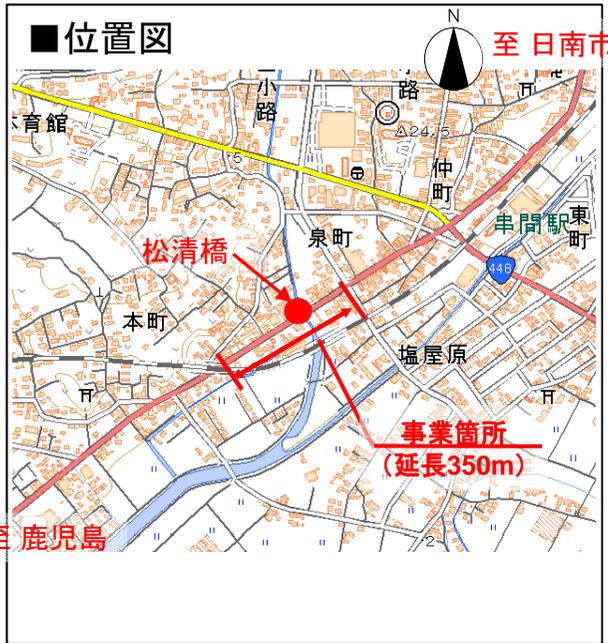
国土交通省 九州地方整備局

宮崎河川国道事務所 TEL:0985-24-8221

技術副所長 沓掛 孝 調査第2課長 神田 真由美

まつきよはし

▼松清橋の整備状況



▼対策内容(車道と歩行空間の分離)

